

登録コード	MA004300	開講年度	2026				
授業科目名	医療カウンセリング概論					担当教員	古庄 知己
英文授業名	Medical Counseling					副担当	
単位数	1	講義期間	不定期	曜日・時限	不定期		対象専攻／学年
講義室				授業形態		授業科目区分	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】 授業で得られる「学位授与の方針」要素						⇔
	MS 2 6カリ(医科学)・医科, MS 2 5カリ(医科学)・医科, MS 2 4カリ(医科学)・医科, MS 2 3カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。					⇔	臨床心理学の基本的知識を習得し、遺伝医療・遺伝カウンセリングの中での活用法を学ぶ。
(2)授業の概要	・ 臨床心理学セミナー						
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	・ 臨床心理学の基本を学ぶ。						
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	・ 基本的コミュニケーション技術を学ぶ。 ・ 遺伝カウンセリングに関わる 心理学的実践技術を学ぶ。 ・ クライアントの心理的・社会的・倫理的・法的課題(ELSI)を学ぶ。 ・ 様々な遺伝カウンセリング提供方法に 合わせたコミュニケーションスキルと課題を学ぶ。 ・ 認定遺伝カウンセラーとして、自身の 心身および価値観やバイアスに対する内省的な態度の習得を学ぶ。						
(5)授業計画	・ 「臨床心理学セミナー」への参加（講義：1時間x15回）						
(6)授業の進め方	・ 講義						
(7)履修上の注意 ・ 事前事後学習の内容	・ 担当教員（宮崎幸子先生[北海道大学病院臨床遺伝子診療部]）より指示						
(8)成績評価の方法	・ レポートで評価。						
(9)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問, 相談への対応	古庄 知己 他 遺伝医学教室（内線5207）						
【テキスト, 教材, 参考書】	【教科書】 ・ 小杉真司「遺伝カウンセリングのためのコミュニケーション論」メディカルドウ ・ 福島昭宗、川目裕、山本佳世乃監訳「遺伝カウンセリングガイド日本語版（A Guide to Genetic Counseling, 2nd ed.）」メディカルドウ						